

# 〇〇学級国語科学習指導案

平成21年10月23日(金) 5校時  
 〇〇学級  
 2年生男1名、4年生 在籍男1名  
 通級男1名 計3名  
 指導者

< 2年生 >

- 教材名 「かたかなで書くことば」  
 ー進んで生活に活かそうー
- 教材について  
 (1) 教材について  
 児童が接する言葉には、数多くの片仮名表記のものが含まれている。  
 そこで、本教材では、どういう場面に片仮名を使用するかについての定着をはかる。また、言葉について考えることで、言葉についての児童の興味・関心を広げ、語彙を拡充する機会としても活用する。

## (2) 児童について

	児童の主な実態
読 む	平仮名・片仮名は身に付いている。漢字の読みも大体できる。文章理解については、身につけている語彙が少ないため、支援を必要とする。 音読は、文字に気をつけながら、正しく読むことができる。
書 く	平仮名・片仮名の書きは、いくつか字形を捉えられないものがある。したことを2～3文の文章で書くことができる。
聞 く 話 す	日常的な指示は理解して動くことができ、短い指示はきちんと伝えることもできる。自分の思いや経験したことを話すときには、単語や身振りで伝えようとする。
作 業	プリント学習などの自学の時間には、やり方を理解すると、集中して進めることができる。分からないところを聞くことができる。
社会性	友だちと関わり合いたいという気持ちが強い。言われたことに対して素直に表現ができず、適切な関わり合いについて声かけが必要である。

## (3) 指導にあたって

本教材は、「気づく」「知る」「定着させる」の部分からなっている。それぞれの部分で児童の発達段階に応じた指導を行いたい。

「気づく」では、片仮名の定着を確認し、身近な材料から自由に片仮名を探させ、学習に対する意欲を持たせたい。

「知る」では、擬声語について知らせた後、いろいろな音や泣き声を考えさせ、片仮名で書

< 4年生 >

- 教材名 「いろいろな意味をもつ言葉」  
 ー作った詩を発表しようー
- 教材について  
 (1) 教材について  
 児童は、国語辞典・漢和辞典の使い方を学習し、テレビ番組の影響からしやれなどに触れることも多く、言葉に対する関心も高い。  
 本教材では、言葉の多義性に着目し、言葉の意味を文脈に応じて使い分けけることを理解することをねらうものである。

## (2) 児童について

	通級児童の主な実態
読 む	言葉の習得が十分ではないため支援が必要であるが、文章の内容は大体理解できる。 文字を目で追うことができるようになり、ゆっくり自分のペースで音読できるようになってきた。 言葉については興味があり、疑問に思ったことは質問し楽しんで学習する。
書 く	自分の思いを言葉にし、2～3文の文章に書くことができる。読む書くともに平仮名に抵抗が強い。
聞 く 話 す	日常的な簡単な指示は理解して動くことができる。自分なりの表現(単語や身振り等)で思いを伝えようとし、その楽しさも感じている。
作 業	書くことに抵抗があるため、取りかかりがおそくなることもある。気を取られやすい。
社会性	その場その場でのルールの確認が必要な場合がある。
	在籍児童の主な実態
読 む	漢字交じりの文を音読することができる。言葉の細やかな言い回しの理解が難しい。
書 く	助詞や文章表現の約束ごとの誤りはあるが、自分の思いで文を書くことができる。
聞 く 話 す	視覚的な提示が必要である。本人なりの単語で思いを伝えようとする。
作 業	受動的であるため、一人での学習は、集中力が高まると進むことができる。
社会性	穏やかで、誘われると素直に行動することができる。コミュニケーションが難しい。

## (3) 指導にあたって

本教材は、「とる」の詩を取り上げた導入と、空所補充によってさまざまな多義語に触れる活動、更に「ひく」「かける」を使って言葉遊びの詩を作る活動とから成っている。

「とる」では、その動作を行ってみたり国語辞典で調べたりして意味の違いをイメージさせたい。また、他の言葉への言い換えや反対の意味の言葉を考えてみて多義性を実感させたい。

かせたい。もともと外国語だった言葉については、分類にこだわることなく、言葉をたくさんださせ触れさせたい。

「定着させる」では、片仮名言語を使って文を作ったり、ゲームやクイズをしたりすることを通して、どんどん片仮名に触れ進んで使えるように場の設定をしたい。

異学年異内容の学習を3人で行うことから、お互いの学習過程を理解し、自学（間接）の時間には、自力でプリント学習を進められるようにしていきたい。

### 3 指導目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

◎ 片仮名で書く言葉を集めたり、クイズやゲームを楽しむことができる。

#### (2) 言語事項

◎ どんな言葉を片仮名で書くかを知り、文や文章の中で使うことができる。

### 4 指導計画（言語4時間扱い）本時第3時

学習活動	評価規準	
	関心・意欲・態度	言語事項
1 身の回りにある片仮名を探す。	・身の回りにある片仮名で書き表す言葉を意欲的に集めている。	・片仮名で書く言葉を理解している。 ・新出漢字や難語句を理解している。
2 片仮名で書く言葉を分類する。	・片仮名で書く言葉に興味を持ち、意欲的に探している。	・片仮名で書く4種類の言葉を理解し、正しく書いている。
3 片仮名クイズを作る。 (本時)	・クイズをだす活動に興味を持ちながら、クイズを意欲的に作っている。	・文章中から片仮名で書く言葉を見つけ、正しく書いている。 ・片仮名を使って短い文を作っている。
4 片仮名クイズやゲームをする。	・自ら片仮名を使い、ルールを守って、楽しくクイズやゲームを行っている。	・クイズやゲームを通して、片仮名で書く言葉を確認している。

空所補充の活動では、「とるものなあに？」のクイズを例にして、さまざまな「○○なあに？」のクイズを行うことにより、多義語が身近に使われていることを知らせたい。

言葉遊びの詩を作る活動では、「とる」の詩の仕組みを理解させ、「ひく」「かける」の用例を確認した後、詩づくりを行わせたい。尚、在籍児童については、多義語が漢字使用の躰きでもあることから、発達段階に応じて内容を精選して指導したい。

3人での学習は、週1回であり、ほとんどを言語事項の指導に充てている。この時間を有意義に過ごすには、自学の力をつけていかなければならない。お互いの学習過程を理解し、自学（間接）の時間には、自力でプリント学習を進められるようにしていきたい。

### 3 指導目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

◎ 言葉の意味の違いに興味を持つことができる。(通級児童)

◎ 言葉の意味の違いを動作をして感じることができる。(在籍児童)

#### (2) 言語事項

◎ 言葉遊びを通して多義語のいろいろな意味について理解をすることができる。(通級児童)

◎ 言葉遊びを通して、多様な意味をもつ言葉があることが分かる。(在籍児童)

○ 国語辞典を使って調べることができる。  
(通級児童・在籍児童)

### 4 指導計画（言語4時間扱い）本時第3時

学習活動	評価規準		
	関心・意欲・態度	言語事項	
1 「とる」のいろいろな意味について調べる。	通級	・いろいろな「とる」について興味を持っている。	・「とる」の意味を理解している。 ・辞書で調べている。
	在籍	・「とる」の動作を楽しく行っている。	・いろいろな「とる」があることを理解している。 ・辞書で調べている。
2 いろいろな意味をもつ言葉について調べる。	通級	・いろいろな意味について、意欲をもって考えている。	・多義語のいろいろな意味について理解している。
	在籍	・クイズを楽しみながら、いろいろな意味について考えている。	・いろいろな意味をもつ言葉があることを理解している。
3 言葉遊びの詩を作る。 (本時)	通級	・言葉遊びの詩を進んで作っている。	・「ひく」の意味について理解している。
	在籍	・教師と一緒に絵をヒントにして詩を作ろうとする。	・「ひく」にはいろいろな意味があることを理解している。
4 詩の発表会をする。	通級	・作った作品を進んで先生方に紹介する。	・「かける」等の詩を自分の力で作っている。
	在籍	・作った作品を先生方に紹介する。	・「かける」等の詩を作っている。

5 本時の授業  
 (1) ねらい  
 ・集めた片仮名言語を使って、文を作ることができる。

(2) 本時の指導にあたって  
 本時は、前時までに集めた片仮名で書く言葉の中からクイズに使う言葉を選び、短い文を作る学習である。  
 直接指導では、文章の中から片仮名で書く言葉を探し、正しく使う練習をする。その後、クイズの作り方を確認し作る。  
 間接の時間は、漢字の読み・クイズ文視写・プリント学習を自分の力でを行い、わからないところは声をかけるように促す。  
 クイズにより学習内容の理解の確認を楽しく行うことができるようにする。  
 本単元における3人での学習の流れを意識させながら学習に取り組ませる。

5 本時の授業  
 (1) ねらい  
 ・教科書の絵をヒントにしながら「ひく」の詩を作ることを通して、言葉遊びの詩の作り方が分かる。(在籍児童)  
 ・教科書の絵をヒントにして教師と一緒に「ひく」の詩を作ることができる。(在籍児童)

(2) 本時の指導にあたって  
 本時は、教科書の絵をヒントにして「ひく」の詩を作る学習であり、そのことを通して、言葉遊びの詩の作り方を理解させる。次時の発表会までの見通しを持たせ、積極的に作品作りができるようにする。  
 間接の時間は、自分の力で進め、わからないとき困っているときは質問するように促す。  
 自分が作った詩を発表し合うことにより、互いの作品を認め、今後の言葉学習の意欲付けをする。  
 本単元における3人での学習の流れを意識させながら学習に取り組ませる。

(3) 本時の展開

段階	個別の支援と配慮事項	学習活動		学習活動	個別の支援と配慮事項	
					通級児童	在籍児童
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気よく声を出すように促す。</li> <li>・片仮名で書く言葉を紙板書で振り返る。</li> <li>・カードを用いる。</li> </ul>	今月の詩の練習をする。 1 前時想起と学習内容の確認をする。 ・本時の学習の流れを知る。	7分	今月の詩の練習をする。 1 前時想起と学習内容の確認をする。 ・本時の学習の流れを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して声を出すように促す。</li> <li>・いろいろな意味をもつ言葉を紙板書で振り返る。</li> <li>・カードを用いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して声を出すように促す。</li> <li>・いろいろな意味をもつ言葉を紙板書で振り返る。</li> <li>・集中して聞くように声をかける。</li> </ul>
ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの分類に当てはまるかどうか確認する。</li> <li>・時間があったら行う。</li> <li>・作った文がクイズの問題文になることを理解させる。</li> </ul>	2 片仮名クイズの作り方を知り、作ってみる。 ・教師が提示した文章の中から、片仮名で書く言葉を探し、正しくノートに書く。 ・集めた片仮名の中から言葉を3つ選び、短い文を作る。 3 片仮名クイズの清書をし、今日の漢字学習を行う。 ・カードに清書する。 ・新出漢字の練習をする。	1分5分	2 前時の学習内容のプリント、今日の漢字練習を行う。 ・学習プリント□に共通する言葉を書き入れる。 ・漢字練習 新出漢字を練習する。 3 教科書の絵を手がかりにして、「ひく」の詩作りを行う。 ・「とる」の書き方と比べながら、「ひく」の詩を作る。 ・作った詩をノートに書く。 ・時間があったら、「たてる」の詩に挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時まとめた紙板書を参考にして書き入れさせる。</li> <li>・書き順、字形に気をつけて練習するように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙板書を参考にして書き入れさせる。</li> <li>・集中して取り組み、終了の合図をするように促す。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさを意識しながら丁寧に書くようにする。</li> <li>・時間があったら、漢字の読みと書きの練習をする。(カード、ワーク)</li> </ul>		1分5分		<ul style="list-style-type: none"> <li>・例題に出ている言葉と同じ音の言葉を探すようにする。(絵カード)</li> <li>・丁寧に書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひくものなかに」で考えさせる。必要な時は絵カードを使う。</li> <li>・集中して書くようにする。</li> </ul>

ま と め る	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズの文を考えて書いたことなど学習したことを4年生に伝えるようにする。</li> <li>頑張った自分を認める。</li> <li>前を向いて頑張ったことで自分自身に自信を持たせる。</li> </ul>	<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの学習の様子を聞きあう。</li> </ul> <p>5 自己評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クイズを楽しく作ることができたか。</li> <li>頑張って学習できたか。</li> </ul> <p>6 次時の予告を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クイズやゲームで片仮名学習のまとめをする。</li> </ul>	8分	8分	<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの学習の様子を聞きあう。</li> <li>「ひく」の詩の発表をする。</li> </ul> <p>5 自己評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ひく」の詩を完成させることができたか。</li> <li>最後まで集中して文を書くことができたか。</li> </ul> <p>6 次時の予告を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詩の発表会を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ひく」の言葉遊びの詩を作ったことなどを2年生に伝えることができるようにする。</li> <li>頑張った自分を認める。</li> <li>集中して自分なりに文を書いたことを喜び合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の発表を聞く。</li> <li>学習したことを2年生に伝えることができるようにする。</li> <li>最後まで頑張って詩を仕上げたことを喜び合う。</li> </ul>

板書計画

<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>カード</p> <p>短文</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>紙板書</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">問題文</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">問題文</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">問題文</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; margin-top: 10px;">かたかなクイズをつくりましょう。</div> </div> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>紙板書</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: right;">とる</p> <p style="text-align: right;">川崎 洋</p> <p>はつけよい すもうとる          こんにはい ぼうしとる          てんどのの でまえとる          セーターの ごみをとる          のらねこの しゃしんとる          かんごふさん みやくをとる          おはなみの ばしよをとる          コーラスの しきをとる          たんじょうび としをとる          リリリリリ じゅわきとる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: right;">ひく</p> <p>コンコンコン かぜをひく          ボロロロロ ピアノひく          一二の三 つなをひく</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; writing-mode: vertical-rl; text-align: center;"> <p>言葉遊びの詩を作りましょう。</p> </div>
--	---

2年

片仮名をカードに書きためておく  
クイズは前時までに教師がつくったものやってみて自分  
も作ってみたいという気持ちにさせておく。やるかたや  
作り方も分かるようにしておく（掲示等）  
学習のまとめで今日学習したことを言えるようにしておく  
本時で4年生にクイズを出します。火曜日はがんばってください  
といえるようだとコミュニケーションは○かなあ それとも一つくらいやってみるといいかなあ

4年

いろいろな意味をもつ言葉を紙に書き掲示しておく  
その中から詩を書くものを選んで最後に自分の力で作らせたい  
絵カードを用意しておく

自己評価 他己評価の在り方

目当ては前時にノートに貼っておくか書いておく。

目標の書きかた

具体の評価規準と支援の手立ての書き方

同じように書けないところもありますが、今回は広田小学校の指導案に準じて作ってみました。  
遅くなって申し訳ありませんが、ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

広田小学校 伊藤 紀江